

令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	イネ NLR 抵抗性遺伝子の機能と進化の解明
研究代表者	寺内 良平 (京都大学・大学院農学研究科・教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】</p> <p>本研究は、イネの最重要病害であるイネいもち病を研究対象として、イネいもち病抵抗性遺伝子の機能領域の改変による認識特異性の拡大、抵抗性遺伝子座の進化過程の解析、抵抗性遺伝子のネットワーク制御と負の制御の解析に取り組み、イネの病害抵抗性制御機構とその進化の解明を目指している。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>本研究は、イネいもち病抵抗性遺伝子とその産物の精力的な分子解析によって、病害抵抗性遺伝子の機能とその進化機構の解明を目指す、学術的意義の高いものである。さらに、その研究成果によって、イネいもち病抵抗性育種に限らず、広く作物の病害抵抗性育種に新たな方法論を提供する可能性があり、作物育種への大きな貢献も期待できる。</p>